

令和元年度 第14回政策推進会議報告

日 時 11月20日13時34分～14時06分

場 所 4-1会議室

出席者 20人

1 次期尼崎市議会臨時会市長提出予定案件について

総合政策局長から資料に基づき報告。

2 議会におけるタブレット端末等の導入について

議会事務局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・(市長) 理事者サイドはどうするのか。
- ・情報政策課及び議会事務局と調整中だが、基本的には議長の許可を得たうえでこの4-1会議室用のタブレットを持ち込んで同様に電子データを閲覧できるようにする方向で進めている。ただ、バッテリーが長時間持たないので、モバイルバッテリーの対応について情報政策課と調整しているところである。
- ・(市長) 議会に導入されるタブレットはもっと持つのか。
→1日は持つ。
- ・(市長) 理事者サイドの資料のダウンロードはどうするのか。議会のほうはクラウドで操作できるが、私たちも同じものを使えるのか。
→議会サイドはiOSのアプリを使用するが、Windowsに対応していないアプリなので、このタブレットでは使えない。
- ・議案の事前説明に行く時はどうするのか。
→説明を受ける議員と議会事務局職員はタブレットで閲覧し、当局側は紙の資料となる。
- ・委員会審査の時の当局側の資料はどうするのか。
- ・当局側は、局長級以外はタブレットを持っていないので紙の資料となる。議員は紙の資料と同じものをデータで閲覧する。
→議員のタブレットは、議会事務局が遠隔操作でページを切り替える。
- ・(市長) 今回導入するタブレットは1台あたりいくらか。
→50台を月額29万円でリースする。1台あたり月額5,800円となる。運用のための経費も含まれている。
- ・(市長) 私は議会に持ち込むタブレットは、いろいろな機能があるものより、電子書籍のようなシンプルなものの方が適していると思っているので、本当は今使っているSurfaceではなく、Kindleを導入できたらいいのではないかと思っている。
- ・議員のほうはiPadである。
- ・(市長) 議員のタブレットには既に資料がダウンロードされた状態なのか。その都度ウェブ上に見に行くのか。
- ・アプリを使用してウェブ上のクラウドに見に行くことになる。

- ・(市長) 昔はウェブ上へ見に行くとなると処理に時間がかかっていたが、最近はそんなことはなくなってきた。
- ・議員はこのタブレットを常に持っているのか。
→家に持ち帰ることも可能である。
- ・個別の議会対応をさせていただくときもデータでやりとりができるのか。
→各議員に個別のメールアドレスが付与されるので、直接メールでのやりとりが可能である。
- ・災害時等にそのメールアドレスに一斉送信をしてもいいのか。
→メールアドレスは公表するので使用して構わない。
- ・(市長) 一般質問に立つ議員が配付する資料もデータとするのか。
→データでも紙でも可としている。
- ・(市長) 私たちが本会議でデータを見るタイミングは、そういう配付資料を見る時だと思うので、バッテリーはそんなに消費しないかもしれない。台数は足りるか。
・足りる。
- ・(市長) 12月議会から試行とのことなので、よろしく願いしたい。

3 その他

- 総合政策局長から、中核市連携シンポジウム NATS 0(zero)について説明。
- 総合政策局長から、第5回尼崎落研選手権について説明。
- 総合政策局長から、小笠原周 凱旋 EXHIBITION 尼崎の伝説の彫刻について説明。
- 危機管理安全局長から、令和元年台風第19号に係る被災地支援の状況について説明。

以 上